

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進		
	施策	2	生涯スポーツ		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 市民の誰もが、生涯を通して自主的にライフスタイルに応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、健康で、はつらつとした暮らしを営むことができる環境をつくるため、スポーツ関係団体や地域との連携を密にし、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- 市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができるよう、ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備について計画的に取り組めます。

2. 令和4年度の取組内容及びその成果



- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、新しい生活様式の中で、利用者等全ての関係者が安心安全かつ継続してスポーツ活動が可能となるよう、またスポーツイベントが開催できるよう、指定管理者と連携しながら体育施設の維持管理に取り組んだ結果、名張市体育施設指定管理施設において、昨年度と比較し施設利用者が10パーセント増という実績となりました。
- ・マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)について、避難所として感染症の疑いがある避難者の受入にも対応できるよう、マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)及び名張市勤労者福祉会館の一体的な活用を可能とするよう防水改修等の整備改修工事を行いました。また、令和2年度の名張中央公園トイレ改修工事の際に判明した不明水の対応として、マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)屋外排水設備の必要な改修を行いました。これらの改修の結果、平常時の快適な利用はもとより、風水害や震災にも対応可能な施設となりました。
- ・名張市民テニスコートにおいて、9面ある市民テニスコートのうち、令和2年2月から3面を、さらに令和2年12月より2面の砂入り人口芝のテニスコートを利用中止としていましたが、AコートからDコートまでの4面をハードコートから砂入り人工芝へ、また、EコートからIコートまでの5面については老朽した砂入り人工芝の張替を行いました。また壁打ち練習コートについては、危険なブロック塀の基準に該当したため、既に練習用壁を撤去していましたが、今回この改修に併せて、安全基準に合致した練習壁に築造し直し、壁打ち練習コートも整備しました。これらの改修の結果、多世代やテニスの初心者から上級者に至るまで、多くの方に利用いただけることが期待できる施設となりました。
- ・伊賀地域唯一の陸上公式記録として認められる第4種公認陸上競技場である、メイハンフィールド(名張市民陸上競技場)において、引き続き公認継続に必要な改修を行いました。本改修の結果、引き続き、施設基準に沿った記録会の開催することで、伊賀地域のみならず市外県外からも多くの利用に繋げることが期待できます。
- ・令和3年11月に設立されたあかめ総合スポーツクラブ設立準備委員会について、令和6年度から持続可能なクラブ運営が行えるよう、スポーツ振興くじの助成を受けながら、財政的な支援及び助言等によりクラブ創設の支援を行いました。更には、新たな総合型地域スポーツクラブの創設に繋げていくため、名張市地域づくり代表者会議等を通じた啓発を行うことで、市内の15の地域の実情に応じたクラブ創設の機運向上を図ったところです。
- ・令和3年の三重とこわか国体(開催中止)後においても、「ホッケーのまち なばり」の推進を図るため、三重県からの助成を受け関係機関と連携し、大会等を開催する中で必要な施設整備(更衣室新設等)を行い、また、同様に三重県からの助成を受け三重県ホッケー協会主催により、三重とこわか国体レガシー事業と位置づけ、令和5年3月にはなりの里スタジアム(名張市民ホッケー場)において、三重県6人制ホッケー大会を開催し、奈良県・愛知県・岐阜県より小学生・中学生と本市の子供達によるホッケーを通じた交流機会を創出し、「ホッケーのまち なばり」の取組の更なる推進に繋げ市民の機運向上を図りました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	46.0	0.0%
	成果	43.8	39.1	37.8	40.7	41.5	40.2	
市民1人あたりの年間体育施設利用回数(回)	目標	-	-	-	-	-	6.0	0.0%
	成果	4.8	4.6	4.6	3.6	3.8	4.3	
総合型地域スポーツクラブの認定団体数(団体)	目標	-	-	-	-	-	7	33.3%
	成果	4	4	5	5	5	5	

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・各体育施設の新型コロナウイルス感染症対策等により年間体育施設利用回数は増加しましたが、コロナ禍によるスポーツ大会・イベントなどが未開催や規模縮小といった対応が引き続き行われたこともあり、スポーツに親しんでいる市民の割合の増加にまではつながりませんでした。
- ・市民プールに関しては、現有施設に対して改修(ろ過機・更衣室等)が必要である一方、市民、とりわけ小学生以下の子どもの夏のニーズの高い施設となっています。また、伊賀地域で唯一、大会開催が可能な50メートルプールを保有していることから、名張市水泳協会から利用再開の強い要望を受けているところです。こういった要望や近年の利用ニーズに対応するため、今後の在り方も含めた検討を行う必要があります。
- ・令和3年の三重とこわか国体(開催中止)後においても、「ホッケーのまち なばり」の推進を図るため、三重県からの助成を受け、関係機関と連携し大会等を開催する中で、必要な施設整備(防球ネット整備等)に取り組む必要があります。また、その他の種目についても、三重県からの助成を受け、関係機関と連携し大会等を開催する中で、必要な施設整備(弓道場及び市ターゲット・パードゴルフ場等)を行い、市民の機運向上に取り組む必要があります。
- ・名張市体育施設における大会や合宿を行うにあたっては、スポーツツーリズムに繋がるよう、指定管理者はもとより、関係協会及び関係部署との連携を図る必要があります。
- ・体育施設等において、照明施設のLED化に向けた整備を年次的に行う必要があります。
- ・近年においては、スポーツライミングやアーバンスポーツが若者に人気が高いことから、スポーツ活動や大会を開催することが可能な施設整備を検討する必要があります。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容（令和5年度以降）



- ・市民の皆さんが、自主的にスポーツやレクリエーション活動に親しむ環境をつくるため、スポーツ関係団体や地域との協議や連携を行います。また、施設利用者等のご意見も伺いながら、施設を利用したことのない人も気軽に利用いただけるよう、周知方法等の改善を図ります。
- ・市民プールに関して、これまでの要望や近年の利用ニーズに対応するため、今後の市民プールのあり方を民間活力の活用も含め検討するため、名張市スポーツ推進審議会等の有識者による第三者委員会へ諮問するなど具体的な取組を行います。
- ・令和3年の三重とこわか国体（開催中止）後においても、「ホッケーのまち なばり」の推進を図るため、三重県からの助成を受け、関係機関と連携し、大会等を開催する中で、必要な施設整備（防球ネット整備等）を行い、市民の機運向上に取り組めます。その他の種目についても、三重県からの助成を受け、関係機関と連携し、大会等を開催する中で、必要な施設整備（弓道場及び市ターゲット・バードゴルフ場等）を行い、市民の機運向上に取り組めます。
- ・名張市体育施設における大会や合宿を行うにあたっては、スポーツツーリズムに繋がるよう、指定管理者、関係協会及び関係部署との連携を図りながら、パッケージツアーの企画等の検討及び取組を進めていきます。
- ・体育施設等において、国等の財源を確保しながら、照明施設のLED化に向けた整備（マツヤマSSKアリーナ（名張市総合体育館）等体育施設、名張市武道交流館いきいき及び閉校学校体育施設（滝之原・錦生・国津・長瀬））を年次的に取り組めます。
- ・若者に人気が高いスポーツライミングやアーバンスポーツに関して、スポーツ活動や大会を開催することが可能な施設整備を検討をする中で、関係協会や庁内若手職員からの意見もヒアリングしながら取り組んでいきます。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	武道交流館いきいき改修事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	加圧給水ポンプに不具合が生じたため、取替工事を行いました。	1,018	318
一般	スポーツ活動振興費	教育委員会事務局	市民スポーツ室	利用者等全ての関係者が、安心安全かつ継続してスポーツ活動が可能となるよう、指定管理者や関係協会と連携し、スポーツ活動の振興に取り組みました。	6,550	5,680
一般	総合型地域スポーツクラブ創設支援事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	スポーツ振興くじの助成を受けて、あかめ総合スポーツクラブ設立準備委員会へ、財政的な支援及び助言等を行いました。また、新たな総合型地域スポーツクラブの創設につなげていくため、名張市地域づくり代表者会議等を通じた啓発を行うことで、市内の15の地域の実情に応じたクラブ創設の機運向上を図りました。	1,200	708
一般	市民テニスコート改修事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	市民テニスコートを全面砂入り人工芝に張り替えました。また、壁打ち練習コートについては、安全基準に合致した練習壁に築造し直し、壁打ち練習コートも改めて整備を行いました。	119,339	15,375
一般	総合体育館改修事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	避難所として感染症の疑いがある避難者の受入れにも対応できるよう、マツヤマSSKアリーナ（名張市総合体育館）及び名張市勤労者福祉会館の一体的な活用を可能とするための防水改修等の設備改修を行いました。	13,021	3,721
一般	市民ホッケー場整備事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	三重県からの助成を受け、更衣室の整備を行いました。	14,996	2,696